

令和6年度 上田市立本原小学校 自己評価シート(職員)

資料17-2

学校教育目標		めざす子どもの姿(中期的目標)	
なかよく たくましく かんがえて	【令和6年度の基本理念】 「安心・安全 わくわく どきどき、学ぶ喜び を感じ、明日を楽し みに来る学校	〇一人一人の子どもの理解を深め、つながりを大切にする学校 〇子どもが学ぶ喜びを感じ、安心・安全で、あたたかな学校 〇子ども一人一人の学びを保障し、考える力・伝える力の伸長を目指す学校	
		今年度の重点目標	
		1	なかよく
		2	たくましく
		3	かんがえて

領域		評価項目	評価の観点
教育活動	なかよく	〇一人一人の子どもを大切に した学級づくり・学校づくり	〇子ども同士、子どもと教師が、あいさつや感謝の気持ちを伝えようと、人権感覚を磨いているか。
			〇子どもが自ら意欲的に取り組み、自己肯定感を高めているか。
			〇いじめや不登校について、しっかりと向き合い、よりよい方向へ導き、楽しい学校づくりができたか。
	たくましく	〇健康・安心・安全の意識の育成と体力の向上	〇健康や体力向上への意識を高める工夫ができたか。
			〇安心・安全な校内環境づくりの工夫ができたか。
			〇清掃や係・児童会活動など、児童自ら積極的に取り組めるよう働きかけたり、支援したりできたか。
	かんがえて	〇すべての子どもの学びが充実する授業づくり	〇「なぜ、どうして、やってみたい」をもとに探究していく授業、主体的に考えを深めていく授業を工夫できたか。
			〇伝え合い、聴き合い、みんなで学び合える授業、ひとりひとりがわかる授業を工夫しているか。
			〇すべての子どもの力を更に伸ばすような授業実践をしているか。
学校運営	〇様々な教育活動・体験活動を通し、豊かな心の育成	〇学校だより、学級・学年だより、安心・安全メール、ホームページにより、教育活動の情報を伝えているか。	〇原つ子応援団と連携し、地域に根ざした活動の場を設け、体験活動が充実しているか。
			〇児童会、縦割り班、校外での交流活動を通して、「ひと・こと・もの」との関わりやつながりを大事にできたか。
	〇子ども・保護者・地域との信頼関係を深める	〇学校だより、学級・学年だより、安心・安全メール、ホームページにより、教育活動の情報を多く知ってもらえるように努めた。	〇地域連携を行ったり、直接または連絡帳、電話などで保護者と連絡をとったりして、信頼関係を深めているか。
			〇学校内外の相談体制の周知、受け入れ体制の整備を進めているか。

総合評価					
総合的に、多くの肯定的な評価であった。課題は、児童の自己肯定感に関することである。自ら意欲的に取り組み、自己肯定感を高められるような授業づくり、授業改善が必要である。また、係活動や児童会等の活動を通して、自分が好き、自分に自信をもつ、自分から進んで取り組む等の姿が多くなるような支援が必要である。					
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
○朝、学校全体が「おはようございます」のあいさつを自分から行っている。○学年関係なく、休み時間に遊ぶことができている。●課題は、元気なあいさつを自分からできる児童がさらに増えることである。		○			児童会のあいさつ活動を充実させていく。児童自らが元気なあいさつや返事ができるよう、授業を含む日常生活において、あいさつや返事の指導を充実させていく。
○清掃や係・児童会活動など、児童自ら積極的に取り組むことができている。●課題は、外遊びの奨励と環境づくりである。		○			2時間目休み、昼休み等において、外で元気に遊ぶことができるよう、児童会も含め考えていく。
○学級会の実施により、対話的でなおかつタブレットを活用した授業ができた。○語彙力の向上に向け、授業中に語彙を増やす活動を取り入れた。●課題は、「すべての子どもの学びが充実する授業づくり」である。		○			学ぶ楽しさがある主体的な授業を行うためには、まだまだ実践が必要である。自己肯定感が高まるよう、授業改善を行っていく。授業がよくなる3観点「ねらい・めりはり・見とどけ」の「見とどけ」の充実力を入れていく。

成果と課題		A	B	C	D	改善策・向上策
〇朝のあいさつを自分から行う児童が多い。●児童、保護者アンケートにおいて、「自分から元気なあいさつをすることができた。」の項目において、CD評価が合わせて約20%と多かった。			○			あいさつの意義をみんなで考えていきたい。児童会のあいさつ活動を充実させていく。職員も児童に対し、積極的にあいさつをしていく。
〇保護者、職員アンケートにおいて、「自分にはいいところがあると思う。」の項目において、AB評価が合わせて約92%と約90%となった。●児童アンケートにおいては、AB評価が合わせて約80%で、CD評価が合わせて約20%と多かった。			○			友のよいところを伝える活動を通して、自分のもつよさについて気づかせたい。係活動や児童会等の活動を通して、自己肯定感が高まるように支援を行っていく。
〇なかよしアンケートなどを通して、悩みを相談しやすい環境づくりができた。また、いろいろな先生方との連携により、すばやく対応できた。		○				一人一人が輝ける場所、活躍できる場所、その子の居場所を考え、所属感とともに、自分は頼りにされているという必要感をもたせていく。
〇保護者、職員アンケートにおいて、「外で遊んだり、元気に運動したりすることができている。」の項目において、AB評価が合わせて約93%と約97%となった。●児童アンケートにおいては、AB評価が合わせて約83%で、CD評価が合わせて約17%と多かった。			○			2時間目休み、昼休みの有効利用を児童会も含め考えていきたい。職員も校庭や体育館と一緒に遊ぶ。
〇児童、保護者アンケートにおいて、AB評価が合わせて約93%と約97%となった。●職員アンケートにおいては、AB評価が合わせて約80%で、CD評価が合わせて約20%と多く、廊下歩行等の課題の記載があった。			○			廊下を歩くことの徹底をはかる。廊下の右側歩行ができるよう、廊下の真ん中にコーン等を設置する。児童がぶつかりそうなガラス等には、紙を貼る等の対策を講じる。
〇心を磨く清掃について、子どもたちと考え、毎日の掃除に向き合うことができた。		○				心を磨く清掃となるよう、清掃に向かう意識改革を行っていく。感謝の気持ちをもって、清掃に取り組むことができるよう支援していく。
〇授業の導入を大切に、学ぶ必然性がある入りを意識した。〇語彙力を高めるために、「どうのこと？」と言い合える環境づくりができた。〇友との活動を積極的に取り入れ、友と考える授業をすることができた。			○			引き続き、3観点「ねらい」、「めりはり」、「見とどけ」を意識した授業となるよう、授業改善に力を入れていく。特に「見とどけ」について力を入れていく。
〇話す聞くマナーを大切に、個に応じた指導をした。〇保護者、職員アンケートにおいて、AB評価が合わせて約99%と100%となった。●児童アンケートにおいては、AB評価が合わせて約89%で、CD評価が合わせて約11%と多かった。			○			「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させていく授業改善を行っていく。
〇タブレットの活用など、わかりやすい授業を心がけることができた。●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っていくことが必要である。		○				主体的に学習に取り組む態度について、「粘り強い取組を行う」としての側面と「自らの学習を調整しようとする側面」の2側面での評価の蓄積をしていく。
〇地域のボランティアの方が、いつも学校にいてくださる環境がありがたかった。		○				毎週水曜日の昼休みにコミクラブとして、地域の方との交流を充実させていく。
〇児童会祭り実施により、縦のつながりの機会が増えた。〇縦割り班での交流活動を行ったことで、普段の遊びでも他学年との交流が増えた。		○				福祉施設との交流等、校外での交流の機会を設けていきたい。
〇ホームページにより、行事などの情報を公開できた。〇学級通信の出す頻度を増やし、クラスの情報を知ってもらえるように努めた。		○				テメルで、学校だより等、積極的に配信していく。引き続き、ホームページの更新も積極的に行っていく。
〇職員アンケートにおいて、AB評価が合わせて100%となった。●保護者アンケートにおいては、AB評価が合わせて約90%で、CD評価が合わせて約10%であった。			○			できる限り、電話や直接お会いして連絡をお伝えできるようにし、地域の方や保護者の方との信頼関係を深めている。
学校内の相談体制に関し、相談室、保健室、校長室等を紹介することができた。また、相談を行うことができた。課題は、学校外の相談に関することである。		○				相談室、保健室、校長室に貼り紙をし、気軽に相談できる体制を整える。学校外の相談についても紹介をしていく。

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった